**１－１「学者の落としもの」**

・初期証拠カード「落とした時計」に対して

その他　「路地裏のことなら靴磨きが知っている。彼に聞くといいよ」

・アイテムカード「学者のものらしき時計」に対して

その他　「早く学者さんに届けてあげな」

**１－２「家宝の剣」**

・初期証拠カード「家宝の剣」に対して

記者「2年前ですか……でしたら多分、私のところで刀剣関係の特集を組んだ時のことですね。あれは商人さんに頼んで貸してもらったものだったと思います」

　　　**証拠カード「商人に借りた」を渡して下さい。**

・証拠カード「商人に借りた」に対して

他「商人に聞いてみるべきだろう」

**１－３「料理のレシピ」**

・初期証拠カード　「自作レシピ」に対して

他「バーのマスターに聞きに行ったら？」

・「プロのレシピと材料」に対して

他「貴族様の所に行って確かめるといい」

・「足りなかった材料」に対して

他「貴族様の所に行って確かめるといい」

**２－１　狼男**

・初期ハンドアウト「狼男のうわさ」に対して

記者「すごいでしょ、私が狼男の記事書いたんですよ。おかげで新聞もバカ売れで。正体は何かって？いやいや、狼は本当にいるんですよー？」（明らかに怪しく）

**証拠カード「目撃情報」を渡す**

・「目撃情報」に対して

記者「へーっそうですか、変な人もいたものですね。私じゃないですよ！証拠がないじゃないですか」

・「銀色の子犬」に対して

記者「え、ええ、最近犬派になりまして。実際稼げましたしね。いいえ、こっちの話ですよ……」

・証拠カード「目撃情報」「銀色の子犬」に対して

記者「うっ…わかりましたよ。ほんとのことを言います。記事がそれっぽくなるように変装して歩いたんです」

**真相カード「でっち上げ」を渡す**

**２－２「恋文」**

・初期証拠カード「恋文」に対して

記者「コレと同じ内容の恋文が出てくる小説を以前マスターに読ませてもらったことがあるね。たしか身分違いの恋をテーマにした作品だった気がするよ」

**証拠カード「恋文の出てくる小説」を渡して下さい。**

・証拠カード「恋文の出てくる小説」について

他「私に言われましても……」

・証拠カード「マスターの冗談」について

他「そこまでわかってるなら、マスターに行け」

**２－３「チェンジリング」**

・初期証拠カード「読めない本」について

他「読めないから判断のしようがないね……学者さんなら読めるかもしれないが」←学者に誘導して下さい。

・証拠カード「一部訳の台本」について

記者「ああこれならこの前取材したオペラの台本で間違い無いだろうね。持ち主？確か貴族さんの父親がオペラのスポンサーをしていたから話を聞いてみればいいんじゃないかな」

**証拠カード「スポンサー」を渡して下さい。**

・証拠カード「スポンサー」について

他「貴族さんの所へ行ったほうがいいのでは……」←貴族への誘導をお願いします。

**２－４「通り魔」**

・初期証拠カード「いきなりの襲撃」に対して

他「殴られた事件は知らない」と答える

・証言カード「ガールフレンド」に対して

その他「そうなのか。なら商人に聞いてみればいいのでは？」

・証言カード「ストーカー」に対して

他「そうなのか。なら貴族に聞いてみればいいのでは？」

**２－５「無人教室」**

・初期証拠カード「子供が来ない」に対して

他　　「学者先生の教室ねえ・・・たしか路地を少し行ったところにあったなぁ・・・」

（貴族は多少動揺した後に、台詞を出してください）

・証拠カード「竜の玉」に対して

新聞記者　「それは・・東方から伝わってる「MANGA」と呼ばれる絵巻物の一つのハズだ・・・。

　　　　　　たしか貴族様が熱心な収集家だったような・・・」

　　　　　　**証拠カード「貴族の所有物」を渡してください。**

・証拠カード　「貴族の所有物」に対して

他　　　「へぇ・・・貴族様は趣味が本当に広いんだなぁ…。

　　　　　あれ？でもなんで子供たちの間で流行っているのだろうか・・・？」

・証拠カード　「子供が来ない」「貴族の所有物」に対して

他　　　　「うーん・・・われわれには推測するしかできないからなぁ・・・

　　　　　　直接貴族様に聞くのがいいのではないだろうか？」

**２－６「笑わない数学者」**

・初期証拠カード「消えた原稿」に対して

他「風で飛んだんじゃないか？」←巡回させれば手がかりは出るので他のNPCに話を聞きに行くよう伝えて下さい。

・証拠カード「紙束を抱えた息子」に関して

記者「最近子供たちの間で飛行機遊びが流行っているようだね」

・証拠カード「数式の書かれた紙飛行機」に関して

他「学者さんに教えてあげたほうがいいんじゃないのか？」←学者への誘導をお願いします。

**２－７「毒殺」**

・初期証拠カード「アンダーソン氏の死」に対して

記者　　「あの事件ですか。特に情報は掴んでませんねえ」

・証拠カード「ボストン氏の買い物」に対して

残り　　「まあ、たしかに変な話だね。そう言えば、この前靴磨きが変なものを拾ったとか言っていたな」

・証拠カード「落ちていた万年筆」に対して

その他　学者ならたぶんそこに毒が入っていないか確かめてくれるだろう。

**２－８「エーシーズ・ハイ」**

・初期証拠カード「キズモノ飛行機」に対して

新聞記者「それってもしかして貴族様のではないですか？まえに飛行機関連の取材で

見せてもらったことがあるのですが、それと同じ機体に思えます」

　　　　　**証拠カード「貴族説」を渡して下さい。**

・証拠カード「貴族説」に対して

他「まずは貴族に話を聞くべきでは？」

・証拠カード　「あの日は病気」に対して

記者「おかしいですねえ？間違い無いと思ったんですが」

・証拠カード「目撃証言」に対して

他「貴族様ご本人に聞いた方がいいのでは？」

**２－９「伝説の薬剤師」**

・初期証拠カード　「伝説の薬剤師」

記者「伝説の薬剤師ですか・・・。たしか、特徴的な星形のあざがあるという噂が。」

　　　**証拠カード「星の形をしたアザ」を渡してください**。

・「星の形をしたアザ」に対して

他　　「アザですか・・？それも星形の・・・？わかんないですねぇ。」

・「星のアザの持ち主」に対して

他「へぇ・・・そうなのかい？星のアザとは変わってるねぇ。でも、消そうとするほどの理由じゃないね？」

・「靴磨きの薬」に対して

記者「直接関係あるかはわかりませんけど・・。靴磨きさんって、意外と博識で、路地裏の浮浪者さんには健康面とかお世話になっている人はおおいみたいですよ？」

・「路地裏の治療者」「星のアザの持ち主」に対して

他「・・・うーん。靴磨きさんに直接聞いてみたらいかがでしょうか？」

**２－１０「10年目の浮気？」**

・初期証拠カード「トマスの浮気疑惑」について

他「酒場に行かれているのでは？」

・証拠カード「最近あってない」について

他　　「プレゼント探しならば商人のところでは？」

・証拠カード「引退した指輪職人」について

記者「それなら知ってます。たまたまかどうかは知りませんが、近所に住んでますので。ただ、偏屈な老人で、昔馴染の人としかろくに話をしないみたいで……彼と話がしたければ、商人に仲介を頼むべきでしょうね」

　　　**証拠カード「職人の今」を渡して下さい。**

・証拠カード「職人の今」について

その他「商人に頼んで下さい」

**２－１１「届かなかった贈り物」**

・初期証拠カード「紅白の箱」に対して

　他　　「紅白の箱？いや、知らないが・・・。」

・証拠カード「中身は女神像」に対して

他「女神像か・・・。どんな女神像かわからないと何とも言えないなぁ。」

・証拠カード「ヴィーナス像」に対して

　他「ヴィーナス像？いや、そんなものは見ていないが・・・」

・証拠カード「裸体像」に対して。

　新聞記者「ああ、裸の像？あったねぇ。正式名称はなんだったかなぁ？でもね、酒場のマスターにみつかっちまって、借金のカタにとられちゃったんだ。悪いね。」

　　　**証拠カード「ツケのカタ」を渡してください。**

・証拠カード「ツケのカタ」に対して

　他　「いや・・酒場のツケが私たちにどう関係あるんで？」

・証拠カード「ギャンブルのベット」に対して

　他　「ああ。マスターと貴族さんはよくギャンブルしてるからね。」

**２－１２「消えたネクタイ」**

・初期証拠カード「ネクタイは商人のもとへ」に対して

他「うーん・・商人さんとはよく会うが変わった様子はないなぁ。よく顔を合わせているマスターなら何か知っているんじゃないか？」

・証拠カード「マスターの証言」に対して

記者「おかしいな・・学者さんに貸した覚えなんてないのだけれど。」

・アイテムカード「ネクタイと領収書」に対して

記者「間違いない。これは私のネクタイだ。しかし、何故学者先生が持っているのだろうか・・？おかしいな？商人さんに送ったと思ったのに。」

**証拠カード「郵便の行方？」を渡してください。**

・証拠カード「郵便の行方？」に対して

他　「記者からの郵便？いや、私のところには来ていないよ。」

・証拠カード「ネクタイと領収証」「郵便の行方」に対して

他　「特に何もわからないなぁ・・・？」

**２－１３「幽霊屋敷」**

・初期証拠カード「悪霊の噂」について

記者「なんでも夜中になるとだれも住んでないのに物音がするらしい。学者さんなら“科学的見解”ってやつを教えてくれるんじゃないか？」

**証拠カード「夜中の物音」を渡して下さい。**

・証拠カード「買い叩き」について

記者「元の持ち主さんの事か、急ぎで金が必要だったらしいし安値でも売り飛ばすしかなかったんだろうよ。依頼主を恨んでいるかって？彼は屋敷の一つや二つ安値で売り飛ばしたぐらいで気にするような人間じゃないよ、むしろ早く資金が集まったと喜んでいるんじゃないか」

**証拠カード「円満な取引」を渡して下さい。**

・証拠カード「円満な取引」について

全員「円満な取引ならそれでいいじゃないか」

（これ以上この手がかりからは情報が手にはいらないことを伝えて下さい）

・証拠カード「夜中の物音」について

他「誰も居ないのに物音がするなんてなんだか薄気味悪いな」←次に話を聞くNPCを言っているので誘導はなくて良いと思います。

・証拠カード「暗闇の中で子供」について

他「ちょっとわからないな、商人さんのところは確か子供が居たはずだから詳しいことを知っているかもしれないね」←商人への誘導をお願いします。

**２－１４「くさきものども」**

・初期証拠カード　「謎の集団」について

記者「あぁ、最近噂になってますよ。なんでも腐ってしまった豆を食べる集団がいるとか……。相当臭いらしいですよ？」

**証拠カード　「腐った豆」を渡して下さい。**

・証拠カード「腐った豆」について

他「腐った豆……？そんなものが食べれるのか？生憎私は料理しないからなぁ……」

（もしかしたらマスターなら知っているかも？　と誘導して下さい）

・証拠カード「黒覆面の男」について

他　　「うーん……怖いねぇ。なんだってそんなものを付けているのだろうか・・？」

・証拠カード「料理依頼」について

他「なんだって、私に貴族様が料理を頼むのさ。そういうのは料理ができる人に頼むだろうよ」

・証拠カード「酒場から出現」について

他「うーん……そんな変な客がいるのか？まさかなぁ……」

・証拠カード「料理依頼」「酒場から出現」について

他「うーん……マスターに聞いてみるのがいんじゃないか？」

**２－１５「紫の薔薇」**

・初期証拠カード「紫の薔薇の君について」

記者「彼女かい？いやー、人気絶頂の大女優だからね。どんな些細なことでも記事にすればお金になる。スクープでもスキャンダルでも構わない。たとえばデビュー前の話は秘密にされてる。けどココだけの話、実は孤児院出身という噂があるね。でも、この噂だけだと編集長に没にされるかな、うーん…」

**証拠カード「女優の出身」を渡す**

・証拠カード「女優の出身」について

他「えっ？あの女優のスキャンダル？・・・なんだただの噂かい」

・証拠カード「貴族の庭園」について

他「知らないなあ…」

・証拠カード「庭仕事の道具」について

他　　　「靴磨き本人に聞いてみてはどうだろうか？」

・全ての証言カードを持って行く

**２－１６「少年の一目惚れ」**

・初期証拠カード「髪飾り」について

他「最近町でよく見かけるけど詳しいことはわからないな」（他のNPCに行くよう伝えてください）

・アイテムカード「高価な落し物」について

他「金の刺繍が入っているしきっと高いものだろう、貴族さんならなにか知っているかもね」（貴族に行くよう誘導して下さい）

・証拠カード「持ち主は貴族の娘」について

他「貰ったものをすぐになくすなんておっちょこちょいだね」←この証拠カードでは次の手がかりが出ないことを伝えてあげてください、ミスリードです。

・証拠カード「きっかけは服装展示会」について

記者「五日前に開かれた服装展示会に取材しに行ったのだが、会場では服の展示のために人間と見間違うほど精巧な人形がたくさん使われていてびっくりしたよ」

**証拠カード「精巧な人形」を渡してください。**

・証拠カード「販売は五日前から」「精巧な人形」の二枚を出された場合

他「それは学者さんに伝えてあげたほうがいいんじゃないか？」

**２－１７「盗まれた首飾りを取り戻して」**

・初期証拠カード「盗まれた首飾り」に対して

記者「ええ。関係あるかはわかりませんが、盗品のロンダリングが多発していますね」

　　　　**証拠カード「問屋がらみの犯罪」を渡してください。**

・アイテムカード「首飾りの鑑定書」に対して

他　「おお、首飾りは見つかったのかい。よかったじゃないか」

・証拠カード「問屋がらみの犯罪」に対して

他「あぁ、そんな話もあったなぁ。私たちには関係ないだろうけれども。」

・証拠カード「もしかして偽造？」に対して

他「えぇー！！鑑定書は偽造だったのかい？たまげたなぁ。学者様がいうならそうなんだろうけど」

・証拠カード「もしかして偽造？」「問屋がらみの犯罪」に関して

他「ふーむ、装飾品のロンダリングねぇ。大変なんだなぁ……で。私に関係あるのかい？」

・証拠カード「鑑定書は偽造」に対して

他「貴族様の持ち物が盗品だなんて・・・早く教えてあげたら？」

**２－１８「行方不明の看板娘」**

・初期証拠カード「酒場のローラ」に対して

記者「ああ、ローラと言えば、なかなかの器量よしだよ。貴族様からプロポーズを受けたって、もっぱらの噂だよ」

**証拠カード「貴族のプロポーズ？」を渡してください。**

・証拠カード「貴族のプロポーズ」に対して

他「ああ……ごく最近の話だよ。2日くらい返事を伸ばして、結局貴族様はフラれたらしい。まぁ、貴族様からプロポーズなんてされたら町娘はビビっちまうよなぁ……OKするならともかく、断るとなると、相手は権力者。ちびるね」

・「赤毛のローラ」に対して

記者「ああ……。そういえば関係あるかは知らないが、学者先生の助手のジャックが、

　　　赤毛の女性と馬車に乗ってるのを見たな」

**証拠カード「ジャックと馬車」を渡してください。**

・「旅支度」に対して

新聞記者「ああ……ローラさんから、いくつかの土地について聞かれましね。たしか」

・証拠カード「ジャックと馬車」に対して

他「ジャックねえ？ローラと関係があるんだとしたら、学者かマスターのどちらかなら知ってるかもな」

・証拠カード「ジャックとローラ」に対して

他「へえ。ローラの彼氏はジャックだったのか。そいつはしらなかった」

・証拠カード「旅支度」「貴族のプロポーズ」「ジャックとローラ」に対して

他　　「ああ……これは。駆け落ちかな……なんにせよ、学者先生に聞くのがいいだろう」

**２－１９「失われた物語」**

・初期証拠カード「本の紛失」に対して

記者　　「あの本ですか、紛失前に取材させてもらったので覚えてますよ。なんでも東洋の島国の昔の貴族たちの生活と、彼らの恋について書かれているんだとか」

・証拠カード「アリバイ」に対して

記者　　「ええ、そうです。あの時は取材のためにパーティー会場にいました。あれは確か……貴族様が到着されて少しした後のことですね。学者先生の本が無くなったとかで大騒ぎになったんです。それで両会場にいた人達に、馬車の御者さん達も含めて全員の持ち物検査をしたんですが、何も見つからなかったそうです」

**証拠カード「持ち物検査」を渡して下さい。**

・証拠カード「学者の借金」に対して

その他　「聞いたことがある気もするが、詳しくは知らないな」

・証拠カード「持ち物検査」に対して

記者「他には何も知りませんよ」」

・証拠カード「馬車の故障」に対して

その他　「へえ、そんなことがあったんですか？詳しい話を聞きたかったら靴磨きか学者に聞くべきでしょうね」

・証拠カード「学者が馬車を？」に対して

他　　　「それはちょっと変だね。商人の知り合いの会社のものだというなら、商人に聞くべきだろう」

・証拠カード「細工の痕跡」、「学者の借金」に対して

その他　「そこまで調べが付いているなら、直接学者に問いただすべきでしょう」

**３－１「表紙のない本」**

①「本探しですか……。そういえば少し前に、匿名で題名のない本譲りますって広告を入れてくれという話がうちのところにもありましたねえ。怪しすぎて、結局立ち消えになってしまいましたが」

**→④「本、譲ります？」**

②「へえ、まあ学者さんは市民向けの占いの本すら非科学的で不愉快だという人ですから」

1. 貴族のところへ誘導）

⑤「二人目の本探し」⑦「一組の呪いの書」などを見せる

「おっ、面白そうな話題ですね！　私も最近、呪いの本について調べていまして。持ち主は分からずじまいでしたが、ちょっと良い情報が手に入りました。そこで、この情報を教えるかわりに、この一連の出来事を実名入りの記事にしたいんですが。だめですかね？　他の持ち主も名乗り出てくれれば、効率的だと思うのですが」→はい「じゃあこれをどうぞ！」

**→⑪「号外新聞・三冊一組の本」**

→（⑩を援用しても良い）依頼人が殺される、心配しているなどと伝える

「そうですか……流石に私もペンで人を殺そうとは思いませんし、あなたに免じて、今回はただで情報を教えてあげます」

「呪いの本は、三冊で１セットのようですよ」

**→⑨「三冊一組の本」**

⑥「なかなか怪しいですが、私は知りませんねえ」

⑧「へえ、そうなんですか」

⑩「何かあったんですか？」（もし呪いの書の話が出てきたら、そのままただで情報を渡すルートへ）

**３－２「読めない手紙」**

・初期証拠カード「友人について」

記者「そいつの事故なら記憶にあるぜ。馬車の前にふらふらっと出てきて轢かれたやつだな。御者によると、三日前は新月の日で暗かったし、気付いた時は間に合わなかったそうだ。そいつは泥酔していたそうだし、これだけなら特に珍しい事ではないが、何かネタでもあるんですかい？」

**→証拠カード「新月」**

・証拠カード「鉱山の開発権入札」に対して

記者「あの入札には疑問があってね。普通入札の金額はある程度散るものなのだが、入札した会社と落とした会社が僅差だったそうだ。○☓商事には黒い噂が絶えなくてね。競争相手を恐喝したとか。その一方で偉いさんには受けが良い。確実な業績を上げ続けているからな。ひょっとしたら何処かから情報が漏れていたのかもな。」

**→証拠カード「入札情報がばらされた？」**

・証拠カード「商人の従兄弟」に対して

他「へぇ、そうだったのか。商人関係の話なら学者にも聞いてみたらどうだい？

　　あの人経済学にも詳しいようだし。」

・証拠カード「臨時休業」に対して

他「その日か……多分関係のない話だが、あの日はマスターの店に行ったらやたら酒の在庫が少なくなっててね。俺の欲しい酒もなくて困ったよ。何かあったのかな？」

・最低限の証拠カード「金の無心」「商人の融資」＋「臨時休業」「新月」「酒の購入」（事故前の行動）

他「何か商人の発言が事実と違ったり、事故の日も怪しい行動をしていたり、

　　これは直接商人に問いただすべきでは？」

**３－３「謎の襲撃者」**

1：「その日は15時頃でしたかね？貴族氏が街を歩いているのを見ましたよ。それも綺麗な女性と一緒に。その女性、どこか見覚えがあったんですが、思い出せなくて……カメラが故障してなければ写真の一枚でも取ったんでしょうけど」

**4番「貴族の目撃情報」を渡して下さい。**

2：「調べて欲しければ学者さんのところに行ったら？」

3or6：「それは変ですよ。だって私はその時間に貴族様が外にいるのを見てるんだし。彼らは嘘をついてるんじゃありませんか？」

まだ渡してなければ4番を渡してセリフを言う。

5：「もともと被害者はあまり素行がいい男ではありませんからね。そういう噂は常にあります。奥さんはそこまで評判は悪くはありませんが、そういう夫に愛想をつかして、他の男に走ったなんて噂もありますね」

7：「靴磨きを問い正せ」

8：「なるほど、そういうことでしたか。ともかく貴族様に話を聞くべきですね」

9：「犯人は手袋でもしてたんでしょうかね？」

10：「それが何か？」

11：「なるほど、そういうことですか。その写真ってのを見せてくれませんか？」

12：「これは知っている人のような気がしますが……やはりマスターに聞いてください。私の思った通りの人なら、マスターが一番詳しいでしょう」

誰なんだよ！と突っ込んで聞かれたら「確信が持てないんですよ。間違いだったら責任もてません」

13：「なるほど……学者さんもお気の毒に」

13と2or13と10：「となると、学者さん以外のところで調べてもらったほうがいいですね。貴族様にはそういう知り合いがいた気がします」

14or17：「学者に行け」

15：「こういう時に重要なのは想像力だと言われたことがあります。犯人は被害者を殴り倒したあと、どういう行動を取ったんでしょう？」

灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、貴族に誘導して下さい。